

取材レポート 第10回

今回は、昨年12月に東京都が開設した国産木材の魅力を発信する拠点「MOCTION」(新宿区西新宿 新宿パークタワー OZONE5階)について取材してきました。



東京都 国産木材の魅力発信拠点 MOCTION (モクシオン)

リビングデザインセンターOZONEの一角に他のショールームとは異なる国産材の角材や引板、床板が目飛び込んでくる、つい足を踏み入れたいくなる空間があります。

ここ「国産木材の魅力発信拠点 MOCTION」は、東京都が国産材の需要拡大へ都市部からの情報発信拠点として全国各地自治体と連携し、地域材の企画展等を開催する自治体展示エリアと「東京の木 多摩産材」を活用したモデルオフィスの常設展示エリアを併設した施設です。

都市やオフィスを木質化することにより炭素の固定を促進し、地球温暖化対策へ貢献することや、木の空間がもつ日常におけるストレスの緩和、人と情報の交流が深まる効果などについてパネルや家具等の展示を通じて分かりやすく伝えています。



各都道府県の代表樹種で構成された日本地図。同じ樹種でも地域によって色や木目が異なり、デザイン性も高くひとときを引く展示物です。



常設のモデルオフィスでは、木の空間がもつ安らぎや人と人を繋ぎ情報交流が深まる場を提供しています。また、展示什器「CARBON STOCK FURNITURE」には炭素固定量が印字されています。



展示スペースの一部を東京都が道府県に貸し出して、地域材製品等を企画展示しています。展示期間は約2週間ですが、すでに年内の出展スケジュールは埋まっているとのこと。このことから各地域における木材利用PRの高まりを感じ取ることができました。(取材日は鳥取県産材の製品等が出展されていました。)



アイデア商品も充実!



無機質な空間を簡単に木質化できるマグネットタイル。冷蔵庫やキャビネットなど身近な場所のアクセントになりそう。木材は希望する産地の製作が可能など嬉しい。



「きえすぎ君」というネーミングの杉板で作成されたホワイトボード。無地なボードと比べて木目が活かされていて、オフィスでも重宝しそう。

お時間を見つけてぜひとも足を運んでいただきたい空間です。

MOCTION (モクジョン) 公式サイト <https://moction.jp>